



すが や ただひさ
菅谷 忠寿さん (43歳)

檀原出身、下百岡在住

(株)本宮運輸と真柴商会(株)、両社代表取締役。真柴商会(株)はドローンスクール岩手金ケ崎校を運営。ドローンスクール管理認定、資格発行機関として県内では初めて国交省登録管理団体となる。趣味はフットサル。妻と子どもの6人暮らし。

▶真柴商会株式会社

■住所 〒029-4503 金ケ崎町西根上餅田60
■電話 ☎47-3110
■ホームページ mashiba.co.jp



QRコード

ドローンでできる可能性を広げ 地域に貢献していきたい



真柴商会(株)の事務所内で、笑顔を見せる忠寿さん。

「ドローン(無人航空機)は人命救助と様々な利活用が進んでいる」と話す忠寿さん。自身が代表取締役を務める真柴商会(株)では、近年、農薬散布や橋梁点検、災害時の状況確認など、さまざまな場面で活躍するドローンの操縦技術を教えるスクールを運営している。忠寿さんは高校卒業後、上京し就職した。31歳の時に金ケ崎に戻り、6年後、父から(株)本宮運輸を継いだ。その後、真柴商会(株)を創業し、空撮や農薬散布の依頼にも対応している。

将来、ドローンで物を運びたいと考えていた忠寿さん。20年近く親交がある小林一郎氏(一社)ドローン操縦士協会前理事長)からの助言もあり、2017年にドローンスクールを設立した。ドローンスクールを始めたことにより、(株)本宮運輸のドライバーも運送以外のスキルを身につけ、仕事の幅が広がり、社員一人ひとりのスキルと価値が高まったという。

真柴商会(株)は、ドローンの普及と地域発展に寄与するために、昨年11月から2カ月半かけて県内33市町村全てに小型ドローンを寄贈した。ドローンの仕事が増え、若い世代の人たちが興味を持ち、地域活性化に繋がると嬉しいと話す。

今後は、東北にドローン産業利活用推進と地域に根付いたドローン操縦士の育成を金ケ崎町から発信していきたいと話してくれた。

広報日記



今月は広報かねがさき800号記念として、これまでの広報紙や広報制作、これからの情報発信について特集させていただきました。昭和30年の第1号広報から現在まで続いている広報かねがさき。長い歴史を持つ広報紙の発行に携われることに感謝しつつ、これからもより良い広報制作に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。今月号では、金ケ崎中学校2年生のまち歩きの様子を表紙にさせていただきました。当日は、雪が降り積もる中での活動でしたが、生徒の皆さんが真剣に地域の方のお話を聞いていたのが印象に残っています。900号、1000号…となる頃には、どのような広報紙になっているのか楽しみです。(村口)

人口と世帯		1月31日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,565人	(- 2)	
男	7,974人	(- 11)	
女	7,591人	(+ 9)	
世帯数	6,194世帯	(- 3)	

